

# 「坂和的中国語学習の極意と中国映画・中国旅行」

第37回 全日本中国語スピーチコンテスト 奈良県大会  
2019 (令和元) 年10月27日 13:00~17:00

弁護士 坂和章平

## <第1部 自己紹介>

### 第1 弁護士坂和章平のプロフィール

(『40年』第1編第1章(15~34頁)(38歳~63歳))

事務所：〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目4番6号  
西天満コートビル3階

坂和総合法律事務所

Tel. 06-6364-5871 Fax. 06-6364-5820

1. ホームページ⇒

<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp>

1949年1月 愛媛県松山市に生まれる

1971年3月 大阪大学法学部卒業

1972年4月 司法修習生(26期)

1974年4月 弁護士登録(大阪弁護士会)

1979年7月 坂和章平法律事務所開設

(後 坂和総合法律事務所に改称) 現在に至る

2. 自己紹介・・・資料1-1

①1949(昭和24)年 愛媛県松山市生まれ(団塊世代)、

②中・高一貫受験 男子校、③学生運動、

④司法試験、⑤公害訴訟(10年)、⑥都市再開発・まち

づくり(30年間)、⑦都市法政策 出版・講義、

⑧映画評論、⑨旅行記(中国へ約20回)

3. 受賞

2001年5月 日本都市計画学会「石川賞」

日本不動産学会「実務著作賞」

4. 坂和章平の出版物(1985~2019年)

・・・資料1-2

(1) 都市問題に関する著書

(2) コラム集等『30年』『40年』『45年』

(3) SHOW-HEYシネマルーム1~44

5. まちづくり事件についての主な判決

・阿倍野再開発訴訟

・津山再開発訴訟

### 第2 坂和と中国史・中国文学

1. 中学1年から漢文の授業

⇒4文字熟語、故事成語を勉強

2. 京大の受験勉強では中国史のウェイトが大

3. 歴史大好き—とりわけ中国史

4. 文学大好き—とりわけ『三国志』

毛丹青人脈—蘇童文学、莫言文学

5. 政治大好き—孫文、毛沢東文化大革命、改革開放、

日共内戦

6. 映画大好き—中学生から3本立て55円

—中国映画は2004年から

### 第3 中国旅行

(『40年』第3編第2章(323~381頁))

1. 香港旅行・・・97(平成9)年6/13~16

2. 中国(大連・旅順・瀋陽)旅行記

・・・00(平成12)年8/10~14

3. 中国(西安・敦煌)旅行記

・・・01(平成13)年8/9~14

4. 中国(北京)旅行記・・・03(平成15)年1/1~4

5. 杭州、紹興、烏鎮旅行記・・・04(平成16)年3/31~4/3

6. 桂林、深せん、広州旅行記・・・04(平成16)年6/10~13

7. 西双版纳(シーサンパンナ)、昆明、麗江、大理「雲南省  
大周遊8日間」旅行記・・・04(平成16)年11/28~12/5

8. 台湾(台北・高雄・台南・日月潭「台湾4日間」)旅行記

・・・05(平成17)年3/13~16

9. 中国(曲阜・泰山・済南・青島「中国5日間」)旅行記

・・・05(平成17)年10/20~24

10. 中国(上海・杭州・烏鎮・無錫・鎮江・揚州・蘇州・周  
庄旅行「中国5日間」)旅行記

・・・06(平成18)年3/16~3/20

11. 中国(北京)旅行記・・・07(平成19)年10/7~11

—北京電影学院特別講義の旅—

12. 中国(上海)旅行記・・・08(平成20)年8/22~24

13. 北京・上海旅行記・・・09(平成21)年3/24~27

14. 上海旅行記・・・09(平成21)年8/17~8/20

15. 上海旅行記・・・09(平成21)年9/17~20

16. 厦門旅行記・・・09(平成21)年11/6~9

17. 大連・威海・青島旅行記

・・・10(平成22)年3/13~18

18. 上海旅行記・・・11(平成23)年11/3日~6日

19. 上海・合肥・南京・上海旅行記

・・・12(平成24)年8/16~24

20. 台湾旅行記・・・14(平成26)年8/17~21

21. 北京旅行記・・・15(平成27)年6/28~30

2015年9月大腸ガンの手術、2016年11月胃ガン手術の為中断

### 第4 中国の大学での講義

1. 2007年10月10日北京電影学院

「坂和的中国電影論」

2. 2009年11月9日厦門(アモイ)大学

「日本の『景観法』と重要判例について」

## <第2部 坂和と映画>

### 第1 私と映画の歴史

1. 小学時代 (1955～61年)  
東映チャンバラ映画、『にあんちゃん』(59年)
2. 中学・高校時代 (1961～67年)  
①3本立て55円 (洋画+日活)、  
②学校推薦 (『ベン・ハー』など)、③試写会時々
3. 大学時代 (1967～71年)  
①時々、名画座系 (3本立て150円?)  
②日活ロマンポルノ
4. 司法修習生 (1972～74年)  
——深夜映画+ビデオ数台 (年末年始)
5. 超多忙時代 (1974年からずっと)  
——深夜映画+ビデオ数台 (年末年始)
6. 自社ビル移転、ホームページ開設 (2000～19年)  
①映画評論執筆開始—試写室通い  
②年間多い時は300本、現在は年間180～200本  
・『シネマ1～44』出版
7. 映画検定——キネマ旬報社・キネマ旬報映画総合研究所  
主催  
・『映画検定』公式テキストブック  
・『映画検定』公式問題集  
・4級合格 (06年7月)  
・3級合格 (07年1月)

### 第2 私の1本・私のベスト5 (略)

### 第3 私の愛読書 (略)

### 第4. 坂和的映画論

1. なぜ映画が面白いのか?  
①人間の本性に迫る、②人生の縮図、③知らないことを体験、④歴史や恋愛の勉強、⑤夢と希望、元気の素
2. なぜ映画評論を書くか  
①書かないと忘れる、②書くことによって感動を記録、  
③他者との議論のネタ、④読者にも夢と希望と元気を与える
3. 何が好きか?  
①人それぞれ、②必ず好きなジャンルあり
4. 映画評論の何が面白いのか?  
①映画の話題は老若男女に共通  
②人間の本性に早く迫れる。本性が早く見れる、  
③異なる意見、見方、感性を知る
5. こだわりがわかる!  
①私のこだわりは?②あなたのこだわりは?  
③面白い人がたくさん・・・

### 第5 私の映画評論の特徴 (ユニーク性)

1. 弁護士の視点

- ①法廷のあり方、②各種の法律上のテーマ  
③その他 (危機管理のシステム)

2. 都市法政策の講義、都市問題の実践からみる視点  
①都市・住宅政策、②公害
3. 歴史大好き人間の視点  
中国、韓国、ヨーロッパ中世
4. 文学大好き  
シェイクスピア
5. 戦争映画検討の視点
6. 日本人論追及の視点 (西欧や中国との対比)
7. 恋愛大好き、ピュアな少年の視点 (?)
8. エロおやじの視点
9. 時事問題検討の視点

### 第6 新聞連載の映画評論 (略) **資料2-1～3**

## <第3部 中国・香港・台湾の近現代史>

### 第1 中国の近現代史 (略)

### 第2 香港の近現代史 (略)

### 第3 台湾の近現代史 (略)

## <第4部 坂和的中国電影論 その1>

### 第1 坂和が見て書いた中国映画約300本

1. 『シネマ5』66本
2. 『シネマ17』83本
3. 『シネマ34』90本
4. 『シネマ44』58本

### 第2 なぜ、中国映画が好きか? (坂和的視点)

1. 歴史大好き
2. きれいな女優大好き
3. 旅行大好き
4. 活劇モノ大好き

### 第3 中国電影100年

1. 中国映画の発祥  
1905年—ドキュメンタリー映画上映  
京劇の演目『定軍山』を記録したもの  
それから100年「中国映画博物館」建設 (2006年)
2. 1931年9月17日 (満州事変) ～1945年8月15日 (日本敗戦) まで  
反日・抗日映画のオンパレード
3. 1945年8月15日 (日本敗戦) 以降  
→満州映画協会 (満映) の崩壊と、東北電影の設立  
・理事長 甘粕正彦  
・大スター 李香蘭
4. 文化大革命 (1967年～77年) と、北京電影学院の再開 (1978年)、第1期生の活躍 (1984年～)

5. 日中国交回復と中国映画の日本への導入
  - (1) 日中国交回復(1972年9月29日)  
田中角栄+周恩来
  - (2) 第1回中国映画祭(1978年~2000年)  
— (株)徳間書店東光徳間事業部が活躍  
→第5世代監督の映画紹介
  - (3) 中国映画の全貌(2004年)  
シネ・ヌーヴォで開催

## <第5部 坂和的中国電影論 その2>

- 第1 第5世代監督以前の監督たち(略)
- 第2 第5世代監督の果たした役割(略)
- 第3 第6世代監督の果たした役割(略)
- 第4 第5世代監督の実績(略)
- 第5 第6世代監督の実績(略)
- 第6 第6世代監督以降の監督たち(略)

## <第6部 坂和的中国電影論 その3> ~社会問題提起作、テーマ別分類(略)

## <第7部 坂和的中国人脈の広がり>

### 第1 莫言さんノーベル文学賞おめでとう

・・・資料3-1~4

(『40年』「巻頭特集」(1~7頁、12~14))

1. 乞う、ご期待!7月26日に中国人作家・莫言と坂和弁護士が対談!(事務所だより17号)
2. 莫言文学のご紹介~『蛙鳴(あめい)』(11年5月、吉田富夫訳、中央公論新社)(事務所だより17号)
3. 中国人作家・莫言との対談は?有馬温泉での温泉談義は?(11年7月26日~27日)(事務所だより18号)
5. 莫言さん ノーベル文学賞受賞おめでとう!(事務所だより第20号)

### 第2 毛丹青老師との共同作業、中国人脈の広がり

・・・資料4-1~6

(『40年』「巻頭特集」(8~11頁)、(『45年』第3編第1章(204~217頁)第2章(219~224頁))

1. 蘇童座談会(08年4/2)
2. 『取景中国』出版に向けて打ち合わせ開始
3. 『取景中国』出版 上海ブックフェア(09年8/18)
4. 大学での対談・共同講演あれこれ
5. CCTVデビュー!(09年10/11)
6. 定遠号プロジェクト(10年3/15)
7. 『恵恵(フィーフィー) 日中の海を越えた愛』の出版と映画化!—毛丹青教授との共同作業、最新報告—
8. 祝!淵博株式会社設立、『在日本』大阪事務所開き(16年5/27)
9. 毛丹青人脈、小玉と阿狸が貴志駅でご対面!(18年4/29)
10. 中国安徽省海外联谊会歓迎会(17年7/12)

11. 江西省帰国華僑連合会(僑連)10名が都島自宅を訪問(19年1/5)

## 第3 2007(平成19)年10月10日 北京電影学院での特別講義

(『40年』第3編第2章8(343、344頁))

1. 北京電影学院での特別講義が実現。きっかけは、事務所だより第9号の交遊録に登場した、北京電影学院客員教授の肩書をもつ古澤敏文氏。北京電影学院は、中国第5世代監督の張藝謀や陳凱歌らを輩出した世界でも珍しい国立の総合映画大学の最高峰。そこで学ぶ約50名の院生を前に、2時間半の授業で私が熱く「坂和的中國電影論」を。
2. 10月9日の打合せと昼食会そして学院内の見学を経て、翌10日、学院内には「日本著名電影評論家坂和章平談 中國電影在日本」と書かれた私の顔写真入りの大きなポスターが(写真①)。うれし恥ずかしの気持ちいっぱい45分前に教室に入ったところ、既に最前列の席をキープする約10名の院生が。配布した授業のネタは中国語版レジメ4枚だけだが、私の手元には膨大な資料が。当日は朝4時半に起きて、ホテルの部屋で講義メモを作成。
3. 授業終了後は『SHOW-HEYシネマールーム』の中国語版はないのか?等の質問が次々と。講義に対する院生たちの興味と関心の強さがありありと!そして今や、この講義録を含む『坂和的中國電影大観』パート2となる『シネマールーム17』の出版計画は確定したうえ、いよいよ中国人民13億人をターゲットにした中国語版による『坂和的中國電影大観』の企画が現実的テーマに。
4. なお、10月9日の古澤氏との打合せの際、喫茶室で出会ったのが『吳清源 極みの棋譜』(06年)の田壮壮(ティエン・チュアンチュアン)監督。そこで、私たちは厚かましくも自己紹介をさせていただいたうえ、ツーショットの写真(写真②)。大学を出る時は学長たちと記念写真を(写真③)。

## 第4 2015(平成27)年6月29日 北京電影学院“实验电影”学院賞の授賞式出席

・・・資料5-1~6

(『45年』「巻頭特集」(16頁~27頁))

(『45年』「第3編第3章」(224頁~230頁))

## 第5 日中友好協会とその関連団体での講演

1. 大阪府日中友好協会 文化茶話会(レジメ略)  
「坂和的日中交流の楽しみ方と坂和的中國電影論」(15年11月28日)⇒19年9月28日に2回目の講演
2. 関西日中関係学会総会/講演会(レジメ略)  
「坂和的日中交流の楽しみ方と坂和的中國電影論」(17年4月22日)
3. 第121回華人經濟・経営研究会/講演(レジメ略)  
「映画から見た中国社会の変貌と坂和的日中交流の楽しみ方」(17年11月22日)
4. 2019年 関西日中平和友好会 新春祝賀会/講演  
「坂和的 中國映画の楽しみ方」(19年2月2日)
5. 2019年7月 日中友好協会の理事に就任

## 第6 2019(令和元)年10月28日 安徽師範大学の日本校友会(同窓会)の成立大会(設立大会)を開催!坂和奨学金を決定!

2019年8月31日(土)、中国人の友人・揚揚(ヤンヤン)の出身大学である安徽師範大学の日本校友会(同窓会)の成立大会(設立大会)が私の事務所の2階で開催。上海からは上海師範大学音楽学科の教授、東京からは東京福祉大学の石曉玲教授も参加し、盛大に設立が宣言。自己紹介の後、贈答品の授与式、「我愛你中国」のソプラノ独唱。さらに、カラオケを交えながら懇談し、懇親を深めた。その中で坂和奨学金の構想も発表され、安徽師範大学建校90周年の記念の楯の授与式も。最後は、交友会の今後の発展を記念して全員で記念撮影。新たな坂和的日中交流と友好がこんな姿で実現できたことに感謝!

## <第8部 中国映画をめぐる近時の話題>

### 第1 直近の中国映画の話題作

1. 呉京(ウー・ジン) 監督  
『戦狼2 ウルフ・オブ・ウォー2』(17年)(S41・136p)の大ヒットをどう考える?・・・**資料6**
2. 『流浪地球(さまよえる地球)』(SFモノ)(19年)の大ヒットをどう考える?・・・**資料7**

### 第2 第5世代監督の直近作に注目!

1. 張藝謀(チャン・イーモウ) 監督
  - ・『グレートウォール』(16年)(S40・52p)
  - ・『楊貴妃』(15年)(S39・303p)
  - ・『妻への家路』(14年)(S35・144p)
2. 陳凱歌(チェン・カイコー) 監督
  - ・『空海 KU-KAI 美しき王妃の謎』(18年)(S41・112p)
3. 馮小剛(フォン・シャオガン) 監督
  - ・『芳華』(17年)(S45掲載予定)
  - ・『戦場のレクイエム』(07年)(S37・126p)
4. 吳宇森(ジョン・ウー) 監督
  - ・『The Crossing -ザ・クロッシング- Part I』(14年)(S45掲載予定)
  - ・『The Crossing -ザ・クロッシング- Part II』(14年)(S45・91p)
  - ・『マンハント』(17年)(S41・117p)
  - ・『レッドクリフ Part I』(08年)(S34・73p)
  - ・『レッドクリフ Part II』(09年)(S34・79p)
5. アン・リー監督
  - ・『グリーン・デスティニー』

### 第3 第6世代監督の直近作

- 賈樟柯(ジャ・ジャンクー) 監督
  - ・『帰れない2人』(19年)(9月公開)

### 第4 張藝謀(チャン・イーモウ) 監督の直近作

- ・『影武者』(2019.9公開)

### 第5 29歳の天才監督胡波(フー・ボー)に注目!

- 2019.11/2公開(234分)
- 29歳で自殺 胡波(フー・ボー) 監督
- 『象は静かに座っている』(18年)

### 第6 『戦狼2』が大ヒット!

- 1位『戦狼』(56億8306万円)
- 2位『流転の地球』(46億5481万円)
- 3位『哪吒』(42億4200万円)(約640億円)を突破
- 4位『アベンジャーズ/エンドゲーム』(42億4009万円)

### 第7 直近の合作映画

1. 映画では米中が大接近!中国市場の魅力は大!
  - ・『トップガン マーベリック』  
トム・クルーズ主演
  - ・『MEG ザ・モンスター』(18年)(S43・87p)  
李冰冰(リー・ビンビン)  
東洋のハワイ 三亜 南海艦隊の基地
  - ・『ゼロ・グラビティ』(13年)(S32・16p)  
中国の宇宙ステーション天空 有人宇宙船 神舟
  - ・『グレート・ウォール』(17年)(S40・52p)  
マット・ディモン主演
2. なぜ余華作品の『血を売る男』が韓国映画に?
  - ・『いつか家族に』(15年)(S43・194p)
3. 日本のコミックにも注目!
  - ・佐藤信介監督『キングダム』(17年)(S43・274p)  
cf『墨攻』(06年)(S17・128p)  
漫画『墨攻』原作:森英樹(原作小説:酒見賢一/漫画脚本:久保田千太郎)
  - ・『ミーユエ』でも登場、墨子、非功、兼愛 法家 商用
4. 中国で『千と千尋の神隠し』が大ヒット!

### 第8 台湾、香港の旧名作が4Kデジタルで(略)

## <第9部 直近の小説、ドラマ、>

### 第1 小説

1. 『玄宗皇帝』塚本青史・・・**資料9-1**  
女帝則天武后、絶世の美女楊貴妃、奸臣安禄山が繰り広げる光と影!中国歴史大作!
2. 『バシレウス 呂不偉伝』塚本青史・・・**資料9-2**  
中国歴史小説の重鎮が描く キングダム=秦国中華統一の物語 550年間続いた春秋戦国時代に終止符を打ち、平和と民の豊かさを希求した壮漢たちがいた!
3. 劉慈欣の小説『三体』(SFモノ)と映画『三体』の大ヒットをどう考える?・・・**資料8**

### 第2 TVドラマ

1. 『ミーユエ 王朝を照らす月』・・・**資料10-1**
2. 『独孤伽羅 皇后の願い』8/19～・・・**資料10-2**
3. 『花と将軍~OH MY GENERAL~』

4. 『賢后 衛子夫』 8 / 23 終了
5. 『麗王別姫 花散る永遠の愛』
6. 『王女未央』・・・**資料10-3**
7. 『神龍 〈シェンロン〉』 10 / 23 ~ 放送開始  
2018年製作 全39巻  
構想7年、総製作費100億円！史上最大級のスケール！2019年最高のファンタジースペクトル時代劇
8. 『海上牧雲記』 10 / 10 ~ 放送開始

## <第10部 坂和と中国語学習>

### 第1 中国語学習の動機

1. HPの開設と映画評論の開始 (01年)  
『SHOW-HEYシネマルーム』出版開始 (02年)  
映画検定4級、3級合格 (06年、07年)
2. 中国旅行の広がり (00年から約20回)
3. 中国人脈の広がり
  - ①留学生 (大同、瀋陽、西安) (99年~)
  - ②毛丹青老師との出会い (04年~)
4. 中国映画との出会い  
「中国映画の全貌2004」(約30本を鑑賞)

### 第2 中国語学習の開始

1. 中国語学習の開始  
2009年4月 毛老師からNHKラジオ講座テキスト『まいにち中国語』をもらったことが契機
2. 中国語学習の素材
  - (1) NHKラジオ講座
  - (2) 中国語ジャーナル
  - (3) 中国語文法、長文解説の秘訣
  - (4) 必須アイテム=電子辞書とICレコーダー
3. 中国語検定へのチャレンジ
  - (1) 2011年12月 4級、3級同時合格
  - (2) 2級へのチャレンジ
    - ①1回目 2018年11月25日 不合格  
2019年3月24日 受験せず
    - ②2回目 2019年6月23日 不合格  
2019年11月30日 受験せず
    - ③3回目 ?

### 第3 坂和的中国語学習の極意

1. 坂和の人生体験からの極意
  - (1) 中高時代の大学受験教育 (つめこみの是非)
  - (2) 学生運動の実践 書くこと (ビラ書き)、  
しゃべること (アジ演説)
  - (3) 司法試験受験のテクニックと集中力  
1年半の集中勉強で合格 (しゃべる、書く)
  - (4) 弁護士としての日夜の訓練 (書き弁としゃべり弁)

2. 坂和の勉強法
  - ①単語ノートづくり (約30冊)  
電子辞書のAからZまでを漢字ごとに
  - ②関連単語ノート
  - ③日本語との異同ノート
  - ④その他いろいろ

### 第4 坂和的反省とポイント

1. 欠点=ヒアリング不足  
坂和的勉強法では書くこと、読むことはOKだが  
聴くこと、しゃべることはダメ
2. 中国語能力として何を求めるか
  - ①法律文書、契約書などを読み理解すること
  - ②新聞、雑誌、小説を読むこと
  - ③中国映画のセリフを聞きとること
  - ④日常会話を聞き取りしゃべること
  - ⑤検定試験に合格すること
  - ⑥スピーチコンテストで合格すること
3. 中国語検定の可否は独自の試験勉強が不可欠
  - (1) 3級はある程度の努力でOK  
しかし2級は全くレベルが違う
  - (2) 2級合格のためには
    - ①語彙②文法③聞き取りの他④ひっかけ問題への対処が不可欠
  - (3) 2級検定のための教科書あれこれ

### 第5 坂和的中国語マスターの意義


<参考> 『最高の人生の見つけ方』  
 (1) ハリウッド版、ジャック・ニコルソンとモーガン・フリーマン主演の棺桶リストは？  
 (2) 日本版、吉永小百合と天海祐希共演の棺桶リストは？  
 (3) 坂和版、棺桶リストは？棺桶リストに死ぬまでにやりたいことリスト

1. 70歳の弁護士として  
中国での都市問題の講義、講演  
中国映画の評論、講演
2. 中国映画、中国ドラマ好き老人として  
字幕は参考程度でセリフを聞き取って楽しむ
3. 中国人の友人と中国語で会話  
そのテーマは日常会話だけではなく、映画論、人生論、文化論まで

### 第6 若い皆さんにとっての中国語学習の意義

1. どんな仕事を選ぶ？学者、通訳、観光、飲食 etc.
2. 場合によれば起業して社長に！
3. どこに住所を定める？
4. どんな友人を持つ？
5. どんな恋人を探す？  
ひょっとして国際結婚？

## 中国映画は、今の日本人が失った世界を思い起こさせてくれる



**弁護士、映画評論家**  
**坂和 章平（さかわ しょうへい）さん**

1949年愛媛県松山市生まれ。大阪大学法学部卒業後、74年に弁護士登録、79年に坂和章平法律事務所開設（現坂和総合法律事務所）。都市計画問題が専門で大阪モノレール訴訟、阿倍野再開発訴訟などを担当。同分野での弁護士活動が高く評価され、2001年に著書『実況中継 まちづくりの法と政策』で、日本都市計画学会「石川賞」と日本不動産学会「実務著作賞」を受賞した。NPO法人大阪府日中友好協会理事

### 「二足のわらじ」で映画も語る、ナニワの熱血弁護士

大阪を拠点に、弁護士と映画評論家の「二足のわらじ」で活躍する。本紙連載「中国映画を語る」でもおなじみのナニワの熱血弁護士。「よっしゃ！」「かまへん！」。人を引きつけてやまない行動力には脱帽だ。

愛媛県出身。「年間180本は見ている」という映画好きは子どもの頃から。「中学生の時はよく一人で映画館に通った。あの頃は3本立てが55円だった。勝新太郎の『悪名』とか見たなあ」。司法試験の勉強や弁護士業が忙しい時はテレビ放送の映画を撮り溜めしては見た。好きなジャンルは歴史や戦争ものだという。

### 弁護士事務所HP開設で本格化した映画評論

映画評論活動が本格化したのは2001年。弁護士事務所のホームページ開設を契機に、趣味として映画評論も掲載した。以来16年間で書き記した映画評論は2500本以上。同時に本にまとめて「SHOW—HEYシネマルーム」シリーズとして出版し、なんと今や40冊以上になる。「どの作品もかなり『力』を入れて書いてきた。こうして本にまとめると、ロコミで広がって広報紙などに載せてくれることがある。継続は力やなあ、とつくづく思う」

「ある程度は見ていた」という中国映画に強い興味を抱いたのは2002年頃から。当時、大阪の映画館で何度か開催された期間限定の「中国映画特集」に通い詰め、夢中になったのがきっかけだ。4本連続オールナイト上映もあったが、寝る間を惜しんで鑑賞。評論もしっかり書き残した。「重労働だったが、楽しいことは苦にならない」。その結晶は、『坂和的中国電影大観』（シネマルームシリーズの第5巻・17巻・34巻として出版）にまとめた。

### 映画通じ交流の輪広がる。北京電影学院、莫言氏など

こうした活動を通じて、中国旅行や中国人との交流も増えだした。07年には北京電影学院に招かれ映画に関する集中講義を行い、それがきっかけで14年には自ら出資して学生の映画製作を支援するための「新視覚賞（坂和賞）」を創設。優秀な短編映画を表彰し受賞者には賞金を授与した。

一方、ノーベル文学賞受賞の莫言氏との交友関係もある。共通の知人である毛丹青・神戸国際大学教授の呼びかけで11年に訪日旅行をサポート。事務所で対談したり、有馬温泉に連れて行ったりした。「来日中にちょうど中国で高速列車の脱線事故が起こった。公害訴訟の経験から『日本ではこうした事故が起こると被害者弁護団をつくっている」と動くんや』と教えたなら、『日本の弁護士はそんなこともやるのか』と興味を示して盛り上がった」

映画の良さは「生きるために役立つヒントがいっぱいある」ところ。そして「中国映画、とりわけ『ある世代』の『ある監督』による『ある映画』は、今の日本人が失った世界を思い出させてくれる。

（北澤竜英）